

医薬品の航空輸送に実績

CEIV 認証を取得

航空貨物輸送を中心に倉庫保管、配送事業を展開する平野ロジスティクス(本社神戸市)。2015年から取り組みを開始した医薬品輸送事業は現在、取り扱ひ物量が10倍以上と順調に実績を増やしている。今年5月には、IATA(国際航空運送協会)が推進する医薬品国際輸送に関する品質認証プログラム「CEIV Pharma」の認証を取得。高品質な医薬品輸送体制の構築を進めている。

平野ロジスティクス

同社は航空会社や貨物輸送事業者のフォーダーからの委託配送などを中心に、成田、羽田、中部(セントレア)、関

西、福岡の各国際空港間の輸出入貨物のO/LT(地上保税)輸送等を取

18年12月に厚生労働省からの医薬品の適正流通(GDPP)ガイドライン発出以降は、GDPPに準拠した管理体制が求め

航空貨物としての医薬品での国際海運や、製薬企業の工場と国際空港間の保管・輸送、温度管理の徹底に取り組んでいる。「CEIV Pharma

つづ。

られるようになった。従来、EUなどでは法令化されているGDPP基準相当の医薬品の取り扱いに向け、スタッフの教育などの社内体制の整備、専用車両の製作を進めてきた。現在は、国際航空貨物として保税状態での国際海運や、製薬企業の工場と国際空港間の保管・輸送、温度管理の徹底に取り組んでいる。



西端氏

「CEIV Pharma」は、IATAが進める医薬品航空輸送品質認証制度で、航空貨物に特化した唯一の医薬品輸送の世界標準品質認証。高い輸送品質を保ったコールドチェーンの構築を目的に、13年にIATAによりGDPPを法制化したという各国で適合する輸送品質認証として薬品輸送取得には医薬品輸送に対応する社内体制や品質が求められる。

現在、認証取得は国内輸送では同社を含む3社のみで、「認証取得後から新規得意先からの問い合わせも増加している」とアドバンテージを強調する。

「認証取得については、西支店長の西端純氏から国際基準に準拠したわれわれの手順を確立したことで、製薬企業等の得意先からも選択いただいた。その基準となるのではないかと期待を語る。

通関作業まで全面的支援

国内物流も開始へ

ジェットエントは、医薬品などバイオメディカル品の温度管理輸送を得意とし、中でも保管、輸送の手配だけでなく、荷主側で行う時間も経費もかかる通関や検疫に際し、必要な書類作成補佐や申請代行、梱包資材の準備、梱包作業までをトータルサポートができることが強みだ。他社で

の要望に応える対応するため、サービスに一貫性が生まれ、意思疎通のハードが格段に良い。また、同社は新サービスとして自社施設によるGDPP/GMP準拠温度管理保管サービスを12月に開始する。そのため国内に拠点を新設、各拠点とも各製薬原料保冷・検体・細胞保管を完全別棟とし、



西氏

は荷主の要望に沿って貨物の輸送・保管の手配をし、必要な通関や検疫、必要な書類作成など輸送に必要なサービスを一入の担当者がトータルサポートするほか、西將

ことなかかる時間、経費、そしてストレスを削減できる。貨物追跡、温度監視も用意する。

同社は、国際物流に加え、新たな国内物流にも着手した。そのサービスがGDPP/GMP準拠温度管理保管サービスである。▽超低温(マイナス196℃)を含む温度管理▽GDPP/GMP準拠▽危険品倉庫認証の3要素を兼ね備えていることが特徴で、「前列の雪、輸送まで、手配で

た声に応えるためだ。サービス名「超低温クラインメディアファーマーカイ」にあるように、「アーカイブ」と入れているのは、試料・検体等に付随する情報を正確に整理し、保管する意味を込めている。

西氏は、製薬企業関係者の生殖医療機関に「私たちの目的は、お客様の希望と柔軟に答え、届けたい医薬品を、最後まで使用する患者さんの幸せに

「認証取得した事業者は、航空輸送に関わるGDPP基準を満たしていることとなる。製薬企業や荷主にとっては自社の監査などを最低限のものに簡略化できる。共に、

「同社は、荷主側のBCP対策として、保管拠点の分散化に資するとし、取次、バイオケミカルや製薬・薬密集地、医療機関過密地を避け、立地選定を行った。非常に温度管理を万全にするための工場の緊急発電機、急速冷却装置も完備する。

同社は税関認証の特定保税運送者制度(AE

「西端氏は「当社が、航空貨物輸送に比べ医薬品輸送への認知度はまだまだ。さらに当社の存在を知っていただくと共に、航空貨物輸送だけに限らず、国内輸送にも取り組む、医薬品を新たな軸として製薬企業の工場や拠点間の輸送についても需要の拡大を図ってみたい」と展望している。

「西端氏は「認証取得による信頼性の高い物流事業者を選定しやすいところ。西端氏は「認証取得に並行し、社内の医薬品管理手順書の文書の電子化も業務効率化も行った。初めての取引先もCEIV Pharmaを認証取得していることで安心感をもって商談を進めさせていた。今後も認証取得があっても通過点であった。さらに利用者の要望に耳を傾け、医薬品輸送の品質向上に努め、われわれの管理体制やノウハウを活用して力になっていきたい」と話す。

「西端氏は「当社が、航空貨物輸送に比べ医薬品輸送への認知度はまだまだ。さらに当社の存在を知っていただくと共に、航空貨物輸送だけに限らず、国内輸送にも取り組む、医薬品を新たな軸として製薬企業の工場や拠点間の輸送についても需要の拡大を図ってみたい」と展望している。